

東海市社会資本整備総合交付金評価委員会 議事録

日 時	令和6年（2024年）2月27日（火） 午前10時00分から午前11時27分まで		
場 所	東海市役所（302会議室）		
委 員 (敬称略) □出席 ■欠席	□谷口 庄一委員	□今瀬 和弘委員	□富田 博巳委員
	□久野 光洋委員	□下村 一夫委員	□松本 志保委員
事 務 局 出 席 者	・都市建設部長 ・都市計画課長 ・都市計画課主幹 ・都市計画課統括主任	大西 彰 竹内 千明 齊藤 英樹 佐藤 友浩	・都市計画課主任 ・下水道課統括主任 ・下水道課統括主任 ・下水道課技師
			松澤 佑亮 津呂 剛 石田 真吾 平岡 弘士
次 第	1 部長挨拶 2 委員長挨拶 3 職務代理人指名 4 議事事項 (1) 第1号議案「保健医療福祉拠点周辺地区都市再生整備計画について」 (事後評価)【資料1】 (2) 第2号議案「東海市における公共下水道整備の実現(重点計画)について」 (事後評価)【資料2】 (3) 第3号議案「東海市における防災・安全推進計画(防災・安全)について」 (中間評価)【資料2】 (4) 第4号議案「東海市における防災・安全推進計画(防災・安全)(重点計画)について」(中間評価)【資料2】 5 その他		
公開・非公開	公開		
傍聴者数	0名		
内 容	1 部長挨拶 都市建設部長から挨拶があったもの。 2 委員長挨拶 谷口委員長から挨拶があったもの。 3 職務代理人指名 久野委員が指名され、久野委員から挨拶があったもの。 4 議事事項 (1) 第1号議案「保健医療福祉拠点周辺地区都市再生整備計画について」(事		

後評価)【資料1】を事務局から説明し、下記の質疑応答等を行ったもの。

【質疑応答等】

(今瀬委員)

1 ページの指標3「地区内人口」に関して、社山北地区において441戸の民間住宅開発が行われているが、進捗はどうか。

(都市計画課長)

地区計画の届出として数値を把握しているが、441戸のうち令和6年1月末現在で148戸、約33.6%の届出を受け付けた。なお、2月に入っても順次届出が提出されている。

(今瀬委員)

開発行為としては終わっているのか。

(都市計画課長)

その通りである。

(久野委員)

上記関連として指標3「地区内人口」が、平成28年の従前値より評価値が下回っていることをどう捉えているか。事業進捗が遅れているのか。

(都市計画課長)

加木屋中ノ池駅の関連整備事業が当初計画より遅れている状況である。主に、鉄道の高架化に時間を要したことや、コロナ禍での様々な制限等が要因となり、工事が予定通り進まなかった。

(久野委員)

どのくらい遅れているのか。

(都市計画課長)

加木屋中ノ池駅の2つの改札口は、駅前広場も含めて令和5年度末に共に開業する予定であったが、令和5年度末の開業は北口のみである。南口は1年程度の事業進捗の遅れが出ていると聞いている。

(久野委員)

事業進捗の遅れが指標3の目標達成度に関係していると考えているか。

(都市計画課長)

要因の一つだと考えている。

(下村委員)

指標3「地区内人口」について、従前値に対して評価値が下がっている要因を記載した方が良いのではないか。また、指標2「アダプトプログラム登録数」は増加しているが、登録団体の活動の範囲は広がっているか。

(都市計画課長)

アダプトプログラム登録団体の活動数は増えてはいるが、加木屋中ノ池駅周辺のまちづくりがまだ終わっていないこともあり、駅周辺では団体数

は増えていない状況である。加木屋中ノ池駅近くの加木屋緑地で登録団体数が増えており、加木屋緑地から駅に足を延ばすことも見込まれるため、今後駅周辺の整備が進めば、様々な団体に登録いただけるものと考えている。指標3「地区内人口」の減少の要因については、自然減が多いことや、駅周辺の整備による移転などが現在考えられるので、さらなる分析を進めていきたい。

(下村委員)

指標3「地区内人口」の効果発現要因欄に記載の「新駅の加木屋中ノ池駅の令和6年3月の供用開始が一部であること」とは北口改札口のことか。

(都市計画課長)

その通りである。

(下村委員)

指標1「健康寿命」の効果発現要因欄について、高度医療と健康寿命の延伸が直接結び付くか疑問である。

(谷口委員長)

健康寿命は病院にかかっていない方を対象としているイメージがある。

(下村委員)

指標としては良いと思うが、効果発現要因欄の記載方法を再度検討してはどうか。

(谷口委員長)

高度医療が受けられる状況を整備しておくことによって、市民に安心感が生まれると考えられる。そのような観点で、体調が悪化してからではなく、予防的な意味合いで健康を維持できるとするような要因内容を考えてみてはどうか。

(都市計画課統括主任)

間接的な効果も考慮して、記載内容を再度検討したい。

- (2) 第2号議案「東海市における公共下水道整備の実現(重点計画)について」(事後評価)【資料2】を事務局から説明し、下記の質疑応答等を行ったもの。

【質疑応答等】

(久野委員)

5ページの目標値と実績値に差が出た要因の文章中3行目「ほぼ予定通り」との表現があるが、「ほぼ」の文言が必要か。

(下水道課統括主任)

目標値は下水道処理人口普及率であり、実績値で未達となったが、当初予定した下水道供用開始面積については達成しているため、このような表現としたものである。「ほぼ」の文言は削除する。

(久野委員)

令和6年1月1日に能登半島地震があったが、本市の下水道の耐震設計についてはどうか。

(下水道課統括主任)

中規模の地震でその構造物が耐用年数中に1度以上は受ける可能性の高い地震動に耐えられる強度で設計している。

(谷口委員長)

5ページ目「下水道供用開始面積 t」とあるが、正しい文言であるか。

(下水道課統括主任)

「t」の文字を誤って記入してしまったもので、正しくは「下水道供用開始面積」である。お詫びして、訂正させていただきたい。

(今瀬委員)

どのような地区が未整備となっているか。

(下水道課統括主任)

浄化センターから距離がある名和町等は整備が遅くなってしまう状況である。また、バイパス整備や土地区画整理事業等に合わせて整備をする区域もある。

(下水道課統括主任)

南加木屋駅周辺についても道路整備と合わせて、下水道整備を行っているところである。

- (3) 第3号議案「東海市における防災・安全推進計画(防災・安全)について」(中間評価)【資料2】を事務局から説明し、下記の質疑応答等を行ったもの。

【質疑応答等】

(谷口委員長)

今後、事後評価をする際には、概要をわかりやすくまとめた資料を1枚付けていただくと深い議論ができるのではないか。

(下水道課統括主任)

承知した。

(下村委員)

10ページに箇所数で数値が示されているが、事業費ベースの進捗状況はどうか。また、浄化センターの長寿命化はどの程度進んでいるか。

(下水道課統括主任)

浄化センターの長寿命化について、東海市ストックマネジメント計画に基づく事業に対して、7、8割の進捗状況である。

(谷口委員長)

浄化センターの機械の更新をしているという理解でよいか。

(下水道課統括主任)

その通りである。

(下水道課統括主任)

事業費ベースの進捗状況について、浄化センターの事業費は8ページに記載したとおり5年間で18億であり、令和4年度までの事業費実績は合計9億円、進捗率は50%程度である。

(下村委員)

浄化センターが当初予定していた機能に必要な敷地面積について、現状は少し余裕があると思うが、現状使用していない敷地を近隣の公園の駐車場や多目的広場等に供することはできないのか。

(下水道課統括主任)

敷地の一部でサッカー場等として使用している箇所もある。今後、人口が増加した場合には浄化センターの機能を増設する可能性もあると考えている。

(下村委員)

使用していない敷地については、必要となるまでの期間の利活用も考えていただきたい。

- (4) 第4号議案「東海市における防災・安全推進計画（防災・安全）（重点計画）について」（中間評価）【資料2】を事務局から説明し、下記の質疑応答等を行ったもの。

【質疑応答等】

(下村委員)

指標番号1の中間目標値が未達となったのは、19ページの図面で示した基幹事業「大田川第7雨水幹線」で問題が発生したということか。

(下水道課統括主任)

その通りである。

(下村委員)

大田川第7雨水幹線に関して、旧計画放流口に放流させようとしたところ地盤が悪かったため、北側に新計画放流口を設置するよう計画変更したということでしょうか。

(下水道課統括主任)

その通りである。幹線の計画変更に加えて、工事内容の変更もあった。

(下村委員)

護岸は新計画放流口まで延伸するという理解でよいか。

(下水道課統括主任)

新計画放流口に合わせて護岸の整備も進める予定である。

	<p>(下村委員)</p> <p>費用対効果を考えた際に、地盤強化をするよりも、護岸を延伸した方が良いという認識であっているか。</p> <p>(下水道課統括主任)</p> <p>その通りである。</p> <p>(今瀬委員)</p> <p>12ページの計画の成果目標について、指標番号2の処理場の耐震化対策実施率について、中間目標値が0%であるのに対し、最終目標値が100%であるが、令和6年度の1年間で達成できる見込みがあるのか。また、指標番号4のポンプ場の地震対策実施率は、中間目標値と最終目標値が同じであり、中間評価値で既に達成しているが、令和6年度で何か整備を計画しているのか。</p> <p>(下水道課統括主任)</p> <p>指標番号2については、目標値の達成に向けて整備を進めていく予定である。指標番号4については、整備計画で位置付けた事業が完了しているものである。</p>
--	--